

イベント開催時のチェックリスト

開催概要	本項目では、チェックリストを記入する前に、イベントの 情報をご登録ください。
------	---

イベント名	第97回山口県体育大会水泳競技大会（高校の部・一般の部） ※開催案内等のURLがあれば記載してください	
出演者・ チーム等	別途一覧参照 ※多数のため収まらない場合は、別途一覧を添付してください	
開催日時	令和4年9月24日（土） 10時30分～16時00分 令和4年9月25日（日） 10時00分～14時00分 ※複数開催の場合は、別途開催日時の一覧を添付してください	
開催会場	山口市きらら博記念公園水泳プール	
会場所在地	山口県山口市阿知須509-50	
主催者	山口県高等学校体育連盟	
主催者 所在地	山口県山口市2580番地1	
主催者 連絡先	（電話番号） 0835-22-0136	（メールアドレス） nishio.yasushi@ysn21.jp
収容率 （上限）	☒ 100% 大声なし(※)	☒ 人と人が触れ合わない 程度の間隔
	☐ 50% 大声あり(※)	☐ 十分な人と人との間隔 (できるだけ2m、最低1m)
収容人数	900名	
参加人数	196名	
その他 特記事項	専門部会議資料に記載あり （大声なしの場合は、大声なしと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を記載ください）	

（※）大声の定義は、「観客が ①通常よりも大きな声量で ②反復・継続的に声を発すること」とし、
大声を推奨する、又は対策を十分に実施しないイベントは「大声あり」に該当します

【参考】 山口きらら博記念公園 有料施設の収容定員	やまぐち富士商ドーム・・・ 13,300人 サッカー・ラグビー場・・・ 13,272人 スポーツ広場…………… 18,200人	多目的広場…… 61,220人 大芝生広場……146,819人 水泳プール…… 1,800人
---------------------------------	---	--

イベント開催時のチェックリスト

基本的な 感染防止	イベント開催時には、下記の項目 （イベント開催時の必要な感染予防策）を満たすことが必要です。 ※5,000人かつ収容率50%超のイベント開催時には個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。	
	チェック欄	○、×
① 飛沫抑制の徹底 （マスクの着用や 大声を出さないこと）	○	【大声なしの場合】 飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（不織布マスクを推奨）の正しい着用や大声（※）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。 （※） 大声の定義は「①観客が、通常よりかはるかに大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。 【大声ありの場合】 「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。
② 手洗、手指・施設 消毒の徹底	○	こまめな手洗やアルコール消毒による手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。）。
	○	主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施。
③ 換気の徹底	○	法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分以上等）の徹底。
④ 来場者間の密集回避	○	入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施。
	○	休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や導線確保等の体制構築。
	○	大声を伴わない場合には、人と人との触れ合わない間隔、大声を伴う可能性があるイベントは、前後左右の座席と身体的距離の確保
⑤ 飲食の制限	○	飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底。
	○	飲食中以外のマスク着用の推奨。
	○	長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛。
	—	自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討。）。
⑥ 出演者等の感染対策	○	有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
	○	練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
	○	出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く。）。
⑦ 参加者の把握・管理	○	チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握。
	○	入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払い戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。
	○	時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起。

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。